事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　6年　2月　1日　　事業所名　高砂発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		共有スペースは曜日によって使用グループを決めるなど、安全に利用して頂けるよう配慮しています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		子どもさん、職員の人数に応じて、センター全体でサポートできるよう職員を配置しております。	国の指定基準に則り、人員配置をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		視覚的分かりやすい環境づくりを行っています。余計な物を置かないようにし、刺激過多にならないように気を付けています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		定期的な安全点検、毎日の清掃・消毒を通して、センター内の美化に努めています。	定期的に専門業者による清掃依頼なども検討します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		全職員が目標面接カードを作成し、一人ひとりが意識を持って業務に臨めるよう体制を整えています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からいただいたご意見を基に、サービスの質向上の為の取り組みを進めています。	より広くご意見を収集できるように、意見箱の設置を検討していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今回のように、今後も定期的に公表していきます。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		1年に1度、第三者評価の自己評価を実施し、3年に1度の外部受審を経て、日々のサービス提供，業務改善へと繋げいきます。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に職員研修、法人内研修を行っており、外部研修にも積極的に参加するように計画を立てて、取り組んでいます。	
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		相談支援専門員と連携を図り、子どもさんや保護者の面談を通して得られたニーズを分析し、児童発達支援計画の作成を行っています。	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　6年　2月　1日　　事業所名　高砂発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人内で統一したアセスメント様式を使用しています。	様式は法人内の児童部会で定期的に見直し、質の向上を図っていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援計画検討会議では、児童発達支援管理責任者を中心として、児童発達支援ガイドラインに示してある項目を確認しながら、実施しております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		子どもさん個々の児童発達支援計画を支援の基本としながら、支援の実施と評価を定期的に行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当職員を中心に、各月の活動プログラムをグループ単位で作成するのと同時に振り返りを行い、プログラムの質の向上に努めています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動の振り返りの機会を設け、子どもさんの児童発達支援計画や実態に応じて、活動内容を変更することで活動内容の固定化されないように配慮しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		保護者や本人のニーズを踏まえ、発達支援、保護者支援、地域支援を考慮した個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		全体朝礼後に、各グループごとにミーティングを設け、その日の活動内容、職員の役割、子どもさん個々のその日の目標などの確認を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		子どもさんが自宅に帰られた後、各グループごとにミーティングを行い、その日の活動や職員の動きの振り返り、子どもさんへの支援の評価などを行っています。	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　6年　2月　1日　　事業所名　高砂発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援計画の検証・改善につなげている	○		児童発達支援計画の支援に基づき、支援を記録し、活動内容や個々の支援に対する検証、評価に繋げています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングでは、子どもと保護者との面談を通して、支援の達成度や満足度等の把握を行い、支援の方向性の確認を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や担当者が出席し、情報の共有を行っています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		葛飾区内の関係機関との連携や、情報交換会や調整会議などに積極的に参加しています。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			非該当	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えている			非該当	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報提供シート（就学支援シート）を作成し、進学先の特別支援学校や移行先の放課後等デイサービスへ情報共有を行っています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要な子どもさんには進学先の小学校などと引き継ぎ会を開催し，情報提供シート（就学支援シート）を活用していきます。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		葛飾区内の関係機関が参加する相談支援部会、情報交換会、調整会議などに積極的に参加し、地域情報の収集と、課題の共有化を図っています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	○	センターで実施した移動水族館に近隣の園児を招待しました。。	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　6年　2月　1日　　事業所名　高砂発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		葛飾区で行われる相談支援部会に参加しています。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の保護者とのやりとりや情報交換などは連絡帳を通して行っており、必要に応じて送迎時，電話連絡，面談等を通して，情報共有を図っています。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	実施はできていません。	新型コロナウィルスの動向を踏まえながら、今後取り組んでいけるように検討していきます。
保護者への説明責任等	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に，運営規定（契約書），重要事項説明書の説明を行っています。また，変更があった場合は，文書にてお伝えしています。	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画を作成した時、見直しを行った時には、保護者へ支援内容と目標の説明を行い、同意をいただいてから支援を提供しています。	
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳を用いた関係構築を基本とし、電話や見学面談を行った際に子育ての悩みを聞く機会を設けるようにしています。	
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現時点で父母の会や、保護者同士の交流の機会を設けることはできていません。	地域の特性や保護者の意見などを参考にしながら、どういう形の支援が適切なのか検討を行っていきます。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に相談・苦情受付受付担当者，解決責任者，第三者委員を設置していることをお伝えしています。また、法人内の窓口だけでなく、葛飾区、東京都が設けている窓口の紹介も行っています。	
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		常盤会便り（法人広報誌）、はじめのいっぽ（当センターのお便り）、ホームページ等を通して、情報を発信しています。	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　6年　2月　1日　　事業所名　高砂発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報管理規程を整備し，プライバシーの配慮等，職員への周知を図っています。個人情報に関する書類・データ等については鍵付きの棚に保管する等して，取扱いに注意しています。	
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしている	○		言葉の理解が難しい子どもさんには、絵・写真カードを用いたり，モデルを示したりと視覚的アプローチを中心に支援を行っています。また、外国人の保護者には、読み仮名を入れるなど配慮しています。	
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		センターがオープンした際は、地域の方へ向けて施設公開を行い、多くの方々に見学していただきました。	
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	各種マニュアルを整備しており，必要に応じて，見直しを行っております。また，緊急時，感染症対応の研修も実施しています。	緊急時、災害時の対応について保護者への周知が不足している為、今後検討し、取り組んでいきます。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	○		火災を想定した避難訓練は毎月実施しており、他にも地震想定、洪水想定、不審者対策避難訓練などを行っています。	
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者とのアセスメント面談や定期的な面談を通して、子どもさんの疾病や服薬状況等を把握しています。	
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書に基づいた食事提供を行っています。	
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		朝礼時の報告と報告書の確認を行うことで共通理解を図っています。また，法人内の事故防止委員会の取り組みの中で事例を集計，分析し，対応策等を検討し、再発防止に努めています。	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　6年　2月　1日　　事業所名　高砂発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内に人権擁護委員会を設置しています。委員会活動として人権に関する意識調査を職員向けに行うなど、人権を意識したり考える機会を設けることで虐待防止に繋げています。また、外部講師による権利擁護をテーマとした研修も定期的に行っています。	
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束を必要とする対象児童は今現在いません。	身体拘束に関するマニュアルが不足している為、作成を検討していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　６年　２月　１日

事業所名　　高砂発達支援センター　　配布：78世帯　回収：59世帯　回収率：75.6%

			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	56	2	0	1	・広い教室でのびのびと活動出来ている。 ・満足している。 ・園庭など外スペースはあるのか不明。 ・あまり入ったことがないのでわからない。	・見学は随時受け付けておりますので是非お越しください。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	47	4	2	6	・人数も多く適切だと思う。 ・配置数はわかるが、専門性はわからない。 ・どんな研修を受けたのか、どんな資格があるのかあると伝わるかもしれない。 ・環境や体制整備全般的にあまりわかっていない。 ・人数は多いと思うが適正かどうかわからない。 ・配置基準がわからない。人数はいるが、専門性は欠けていると思う。	・国の基準に則った職員数と専門職を配置しています。 ・1クラス10名の子どもさんに対してスタッフ3名以上を目安に配置するようにしています。 ・役職、有資格者としては管理者、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、社会福祉士等を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	57	0	0	2	・子ども達にわかりやすい生活空間になっていると思う。 ・保育園よりも部屋に子ども本人の顔写真が貼ってあり、わかりやすく工夫されていると思う。	・構造化などの手法を用いて、子どもさんが安心できる、理解しやすい、伝わりやすい環境を心掛けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	57	2	0	0	・とても清潔で心地よく過ごせている。 ・いつもきれいにしてあり、素晴らしいと思う。 ・清潔だが外との換気がもっとあると安心。	・子どもさんが安心して清潔に過ごせる環境整備を進めていきます。
	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	56	3	0	0	・保護差のニーズや子どもの課題がしっかり分析されていると思う。 ・保護者のニーズは受け入れてもらえるが子どもの特性がどこまで反映されているかわからない。	・保護者の方のニーズを汲み取り、発達検査などのフォーマルな手法を取り入れながら、客観的なデータと根拠に基づいた計画作成を行っていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	53	2	0	4	・子どもも施設に必要な項目が適切であり、具体的な内容であると思う。 ・児童発達支援ガイドラインの内容を知らない。	・「重要事項説明書」や「通所案内」の「具体的支援」項目の中に記載されており、説明させていただいていますのでご確認ください。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　６年　２月　１日

事業所名　　高砂発達支援センター　　配布：78世帯　回収：59世帯　回収率：75.6%

			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	51	1	0	7	・連絡等のやり取りだけなので正直わからない。 ・集団指導の為、個別の支援計画に沿った支援かわからない。 ・支援計画と毎日のプログラムがどのようにリンクされているのかわからない為プログラムのねらいを教えてほしい。	・計画内容の評価については面談を通して行うのが基本となります。普段のセンターのお子さんの様子をご覧になりたい際には、職員にお申し出ください。同時に個別相談も受け付けております。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	50	6	0	3	・さまざまな活動が1か月組まれている。 ・夏祭りはとても楽しんでいた。	・まずは高砂発達支援センターが子どもさんにとって楽しい場所だと認識してもらい、楽しみながら療育に参加してもらえるよう今後も工夫していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20	6	15	18	・交流はなかったと思うが、特に求めていない。 ・行われているかわからない。 ・送迎を親を介さずに保育園で送迎してもらえてありがたい。 ・そのような機会があるとは聞いていない。 ・そういう機会がほしい。	・保育園、幼稚園を併行利用してセンターを利用されている子どもさんが多い為、現在は特に交流の場を設けておりません。 ・機会があればセンター内のイベントなどに合わせて近隣の園などと交流が図れる場を設けていきたいと考えています。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	57	1	0	1	・とても丁寧に説明してもらった。 ・施設長が通所時とても丁寧な説明をしてくれて驚いた。	・契約時に必ず説明を行うようにしています。説明後に気になることがあった際はお気軽にお問い合わせください。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	57	2	0	0	・支援計画を元に細かく説明してもらった。 ・児童発達支援ガイドラインについては説明がなかった。	・「重要事項説明書」や「通所案内」の「具体的支援」項目の中に記載されており、説明させていただいていますのでご確認ください。
	⑫	保護者に対して「家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	23	15	8	13	・家ではどのようにすればよいか等アドバイスをもらえた。 ・子どもの発達に係る悩みごとを相談すると連絡帳を介してアドバイスをもらえる。 ・面談のことだろうか？ペアレントトレーニングされている認識はなかった。 ・利用を始めたばかりの為わからない。 ・保護者へのフォローは特段ないと思う。 ・ペアレントトレーニングがあるのか知らない。あったら教えてほしい。	・現在、ペアレントプログラムについては葛飾区が行っている講座の紹介に留まっていますが、今後センターでも実施できないか検討していきます。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　６年　２月　１日

事業所名　　高砂発達支援センター　　配布：78世帯　回収：59世帯　回収率：75.6%

			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	50	5	2	2	・課題について話す機会があり、伝えあうことが出来た。 ・帰りや連絡帳で様子を伝えてもらえている。 ・困りごとに対しての対応やセンターでの取り組み方など教えてもらえ助かっている。 ・連絡帳だけだと子どもの様子がわかりづらい。 ・「日頃から伝え合い」は全く出来ていないと思う。	・連絡帳の他に、面談や電話での連携も可能です。施設側から連絡や面談の依頼をさせていただくこともありますが、気になることがあった際は、お気軽にご相談ください。 ・見学、個別相談については随時お受けしていますので、お気軽にお申し出ください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	45	9	1	4	・質問するといろいろと教えてもらえ助かっている。 ・職員から見た子どもの様子をもっと詳しく知りたい。 ・年に一度だが、もう少し多くてもいいかと思う。 ・定期的な面談はないが、迎えの時に子どもの様子を聞ける。 ・面談のみでが、これを定期的と言えるのか？	・定期面談は6か月ごとの実施が目安となります。それらの機会以外にも保護者へ情報提供や助言などを行える方法を検討していきます。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　6年　2月　1日

事業所名　　高砂発達支援センター　　配布：78世帯　回収：59世帯　回収率：75.6%

		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	14	19	14	・土曜療育で親同士の意見交換が出来た。 ・まだそのような機会に参加できていないが、機会があれば参加したい。 ・あるとよかったが、状況的に仕方なかったと思う。 ・他の保護者と顔合わせるのはバス停だけ。同じクラスの子どもの保護者も知らない。 ・長いコロナ渦のせいもあるのか、就学の説明会のみだった。 ・そろそろ始めてもいいのではないか？ ・保護者同士の交流をしたことがない為わからない	・一定の保護者の方々から保護者同士の交流の場がほしいという声をいただいております。保護者、センタースタッフがより密に交流できるような場を検討していきたいと考えています。
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	48	6	1	3	・とても迅速に適切に対応していると思う。 ・連絡帳での質疑にもしっかり答えてくれたり、自宅で取り組んでいることをセンターでも取り組むなど対応してくれた。 ・食事の提供方法など、臨機応変に対応してもらえた。 ・先生方の異動や退職など教えてほしい。	・お気軽に相談等を行っていただけるように、相談窓口や受付体制を案内しています。気になることがありましたらご連絡ください。
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	51	6	1	1	・小さなことでもしっかりと情報伝達している。 ・「配慮」は感じられない。	
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	48	2	0	9	・写真付きでとてもわかりやすい。 ・イベントの様子が載った手紙を楽しく見ている。 ・忙しいとは思うが行事写真はもう少し多いと嬉しい。	・センターの広報誌である「はじめのいっぽ」の中身の充実、ホームページの更新頻度を上げられるように努めてまいります。
⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	56	0	0	2	・十分に注意している。	・個人情報の取り扱いに関しては定期的に職員研修で学ぶ場を設け、注意喚起を行うようにしています。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　６年　２月　１日

事業所名　　高砂発達支援センター　　配布：78世帯　回収：59世帯　回収率：75.6%

			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	37	9	0	13	・しっかりと保護者にも周知説明していると思う。 ・各種マニュアルのことは認識していない。	・感染症対応については「通所案内」にて説明させていただいております。 ・センターが作成した非常災害対策計画を自由に閲覧できるように玄関ホールに設置しているのでお時間がある時にご覧頂ければと思います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	38	3	0	18	・定期的にしっかりと訓練している。 ・利用を始めたばかりの為まだわからない。	・火災訓練、水害訓練、地震訓練、不審者対策に関する訓練を１年を通して行うようにしています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	56	0	2	1	・最近保育園の方が楽しいらしい。 ・先生のことも大好きでとても楽しみにしている。	・当センターが子どもさんにとって、楽しく学べる場所、楽しい経験できる場所、可能性が伸びる場所になるように今後も努力していきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	51	6	1	1	・とても楽しみにしている。 ・少しずつ成長することが出来ているようで満足している。 ・子どもの成長が著しく、両親ともに通所出来てよかったと思う。 ・保育園への送迎、土曜日の通所など共働き家庭にも配慮してもらえている。 ・子どもの活動の様子を定期的に写真や動画で見ることが出来たら嬉しい。 ・利用を始めて半年経つが変化があまり感じない。利用日数が増えたので経過を見守りたい。 ・個別支援が月１であればよいかと考えている。 ・専門職の人をきちんと雇い、専門の方からの支援やアドバイスを受けたい。 ・正直もっと期待している。 ・保護者間での交流の場がほしい	・今後も子どもさんと保護者の方々に高砂発達支援センターを利用して良かったと感じてもらえるよう、引き続きサービスの質向上に取り組んで参ります。

○この「保護者等からの事業所評価表の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け）により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。